

週刊 タバコの正体

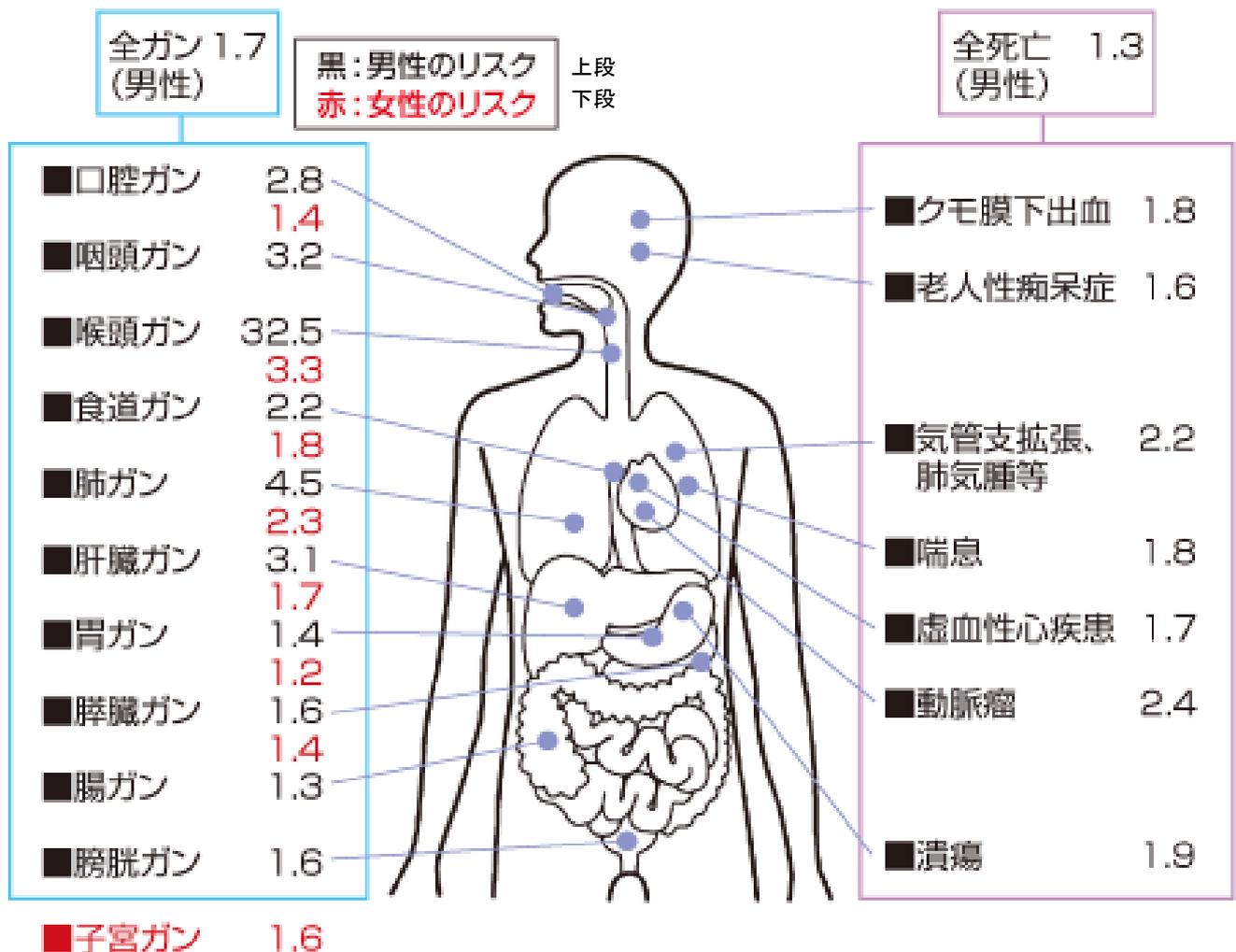
タバコは身体に深刻なダメージを与える事は、多くの人が知っています。でも、すぐに病気になるわけではなく、症状が現れるまでには何年もかかるので、その危険性をあまり感じる事ができません。だから、一旦ニコチン依存症になってしまうと、余計にやめられなくなってしまうのです。

では、いったいどんな病気になるのでしょうか。下図に、タバコを吸わない人と比べた病気の死亡率を示しました。ほぼ体中の臓器が病気となる可能性があり、しかも死亡にいたる確率も高いのです。この事を知れば、あえてタバコに手を出す気にはなれないはずです。

病気になるために、タバコの煙を吸いこんでいるようなものですからね。

産業デザイン科 奥田 恭久

非喫煙者を1.0とした喫煙者(男性・女性)の死亡率



平山雄：病態生理, 7(9): 695, 1988